



TRY公募説明会

2021年8月

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
イノベーション推進部

1. 研究開発型スタートアップ支援事業

- 1 – 1. 研究開発型スタートアップ支援事業の全体像
- 1 – 2. 研究開発型スタートアップ支援事業の目的

2. TRY事業について

- 2 – 1. TRY制度の狙い
- 2 – 2. TRY事業の概要
- 2 – 3. TRY提案時の留意事項

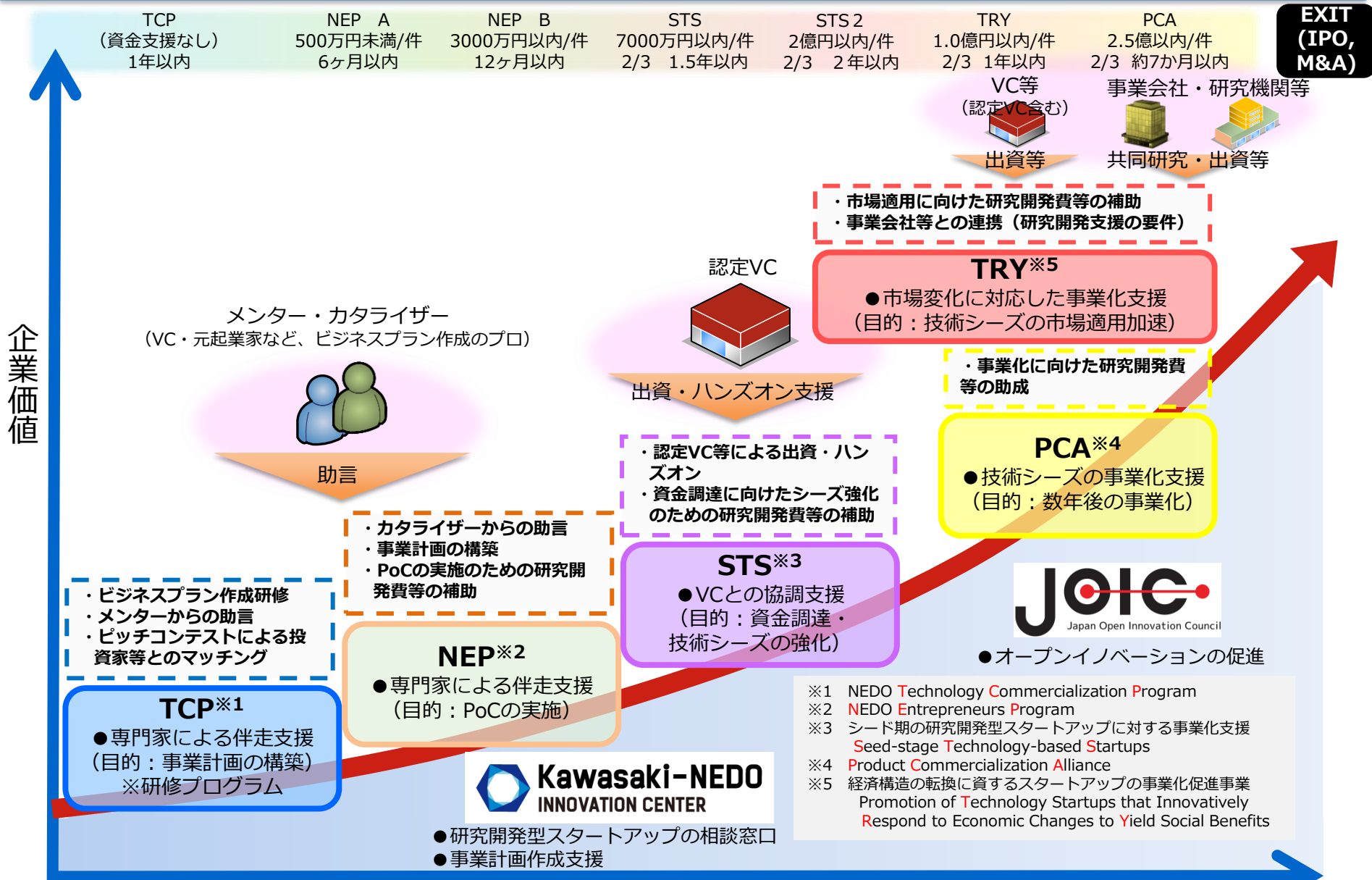
3. 応募に向けての留意事項

- 3 – 1. 提案書作成の留意点
- 3 – 2. 審査のポイント

4. 今後のスケジュール

5. 質疑応答

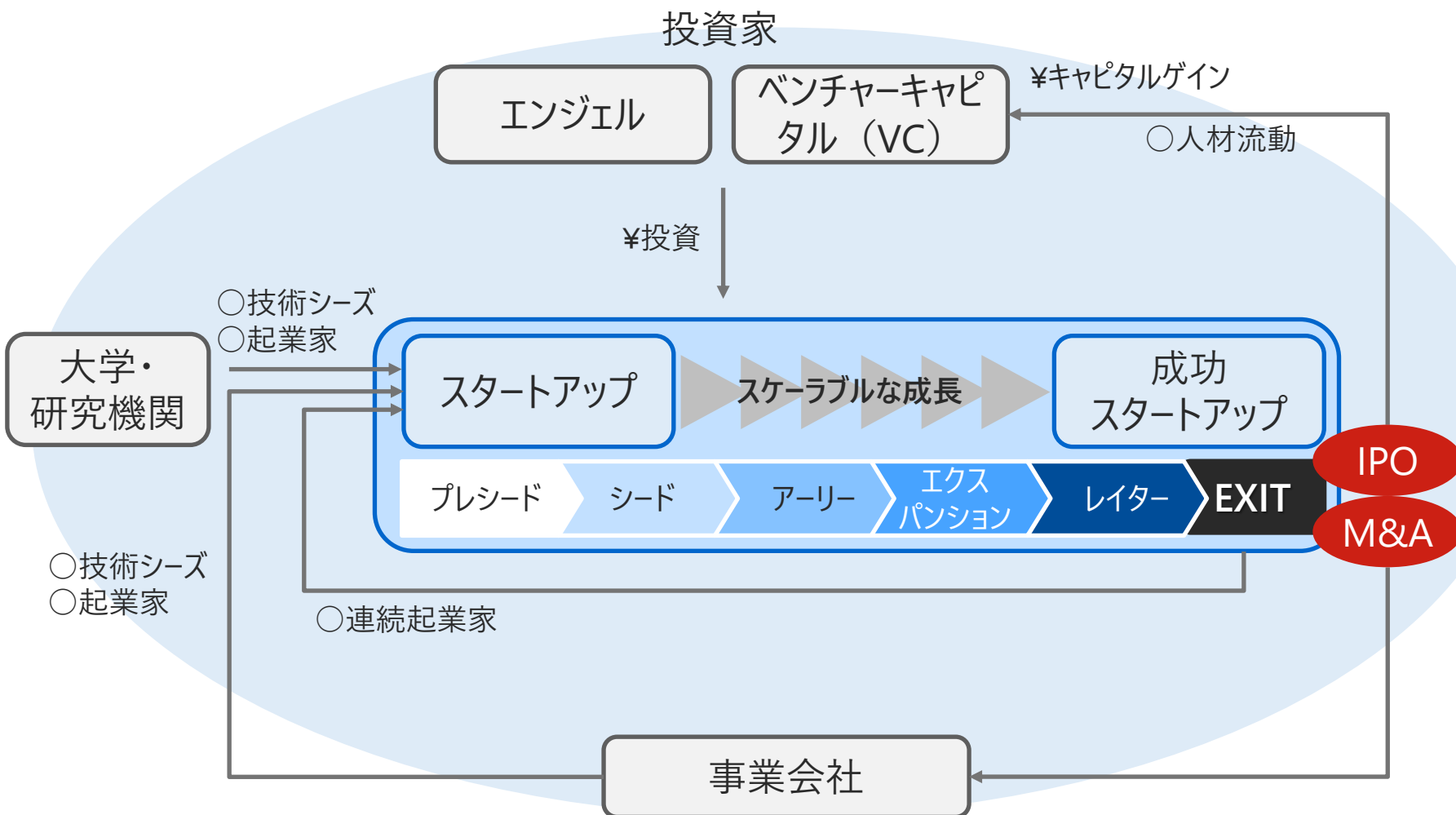
1 - 1. 研究開発型スタートアップ支援事業の全体像



- ※1 NEDO Technology Commercialization Program
- ※2 NEDO Entrepreneurs Program
- ※3 シード期の研究開発型スタートアップに対する事業化支援
Seed-stage Technology-based Startups
- ※4 Product Commercialization Alliance
- ※5 経済構造の転換に資するスタートアップの事業化促進事業
Promotion of Technology Startups that Innovatively Respond to Economic Changes to Yield Social Benefits

1 - 2. 研究開発型スタートアップ支援事業の目的

スケーラブルな成長を目指す研究開発型スタートアップの事業化とスタートアップエコシステム全体の自律的な成長を支援。



EXIT
(IPO,
M&A)

TCP
(資金支援なし)
1年以内

NEP A
500万円未満/件
6ヶ月以内

NEP B
3000万円以内/件
12ヶ月以内

STS
7000万円以内/件
2/3 1.5年以内

TRY
1.0億円以内/件
2/3 1年以内

PCA
2.5億円以内/件
2/3 約7か月以内

VC等
(認定VC含む)
出資等

事業会社・研究機関等
共同研究・出資等

2. TRY事業について

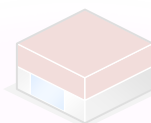
企業価値



助言

出資・ハンズオン支援

認定VC



・市場適用に向けた研究開発費等の補助
・事業会社等との連携（研究開発支援の要件）

TRY※5

●市場変化に対応した事業化支援
(目的：技術シーズの市場適用加速)

・事業化に向けた研究開発費等の助成

PCA※4

●技術シーズの事業化支援
(目的：数年後の事業化)

・認定VC等による出資・ハンズオン
・資金調達に向けたシーズ強化のための研究開発費等の補助

STS※3

●VCとの協調支援
(目的：資金調達・技術シーズの強化)

・カタライザーからの助言
・事業計画の構築
・PoCの実施のための研究開発費等の補助

NEP※2

●専門家による伴走支援
(目的：PoCの実施)

・ビジネスプラン作成研修
・メンターからの助言
・ピッチコンテストによる投資家等とのマッチング

TCP※1

●専門家による伴走支援
(目的：事業計画の構築)
※研修プログラム

**Kawasaki-NEDO
INNOVATION CENTER**

- 研究開発型スタートアップの相談窓口
- 事業計画作成支援

Joic
Japan Open Innovation Council

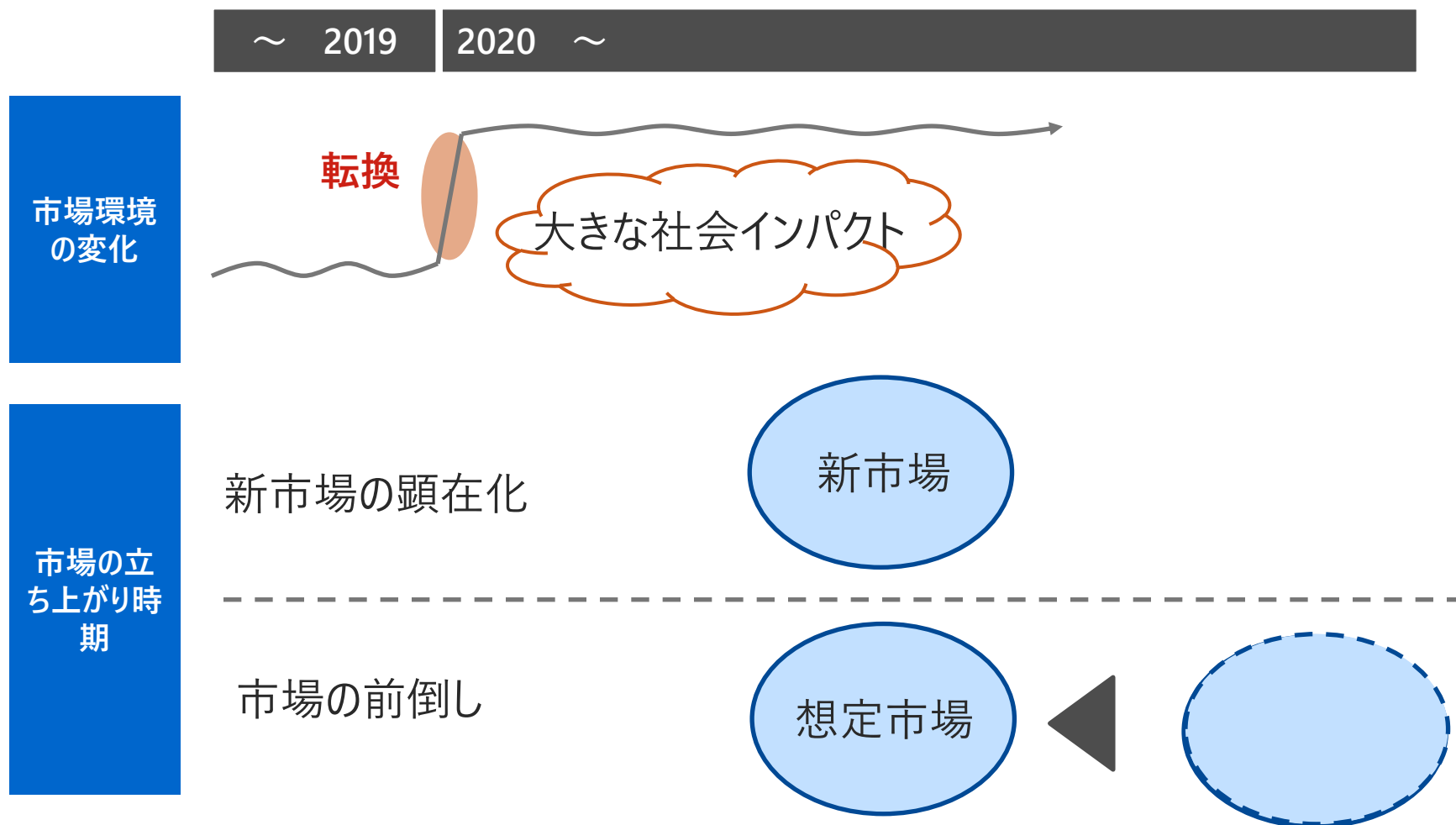
●オープンイノベーションの促進

- ※1 NEDO Technology Commercialization Program
- ※2 NEDO Entrepreneurs Program
- ※3 シード期の研究開発型スタートアップに対する事業化支援
Seed-stage Technology-based Startups
- ※4 Product Commercialization Alliance
- ※5 経済構造の転換に資するスタートアップの事業化促進事業
Promotion of Technology Startups that Innovatively Respond to Economic Changes to Yield Social Benefits

ステージ/時間

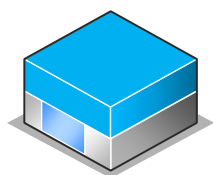
2 - 1. TRY事業の狙い

2020年初頭からの急激な市場環境の変化を大きなチャンスと捉えた具体的な事業計画がある研究開発型スタートアップの支援を目的とする。



2 - 2. TRY事業の概要

助成対象事業者	2020年初頭からの急激な市場環境の変化を大きなチャンスと捉えた具体的な事業計画がある研究開発型スタートアップ		
助成額	1億円以内	助成率	助成対象費用の2/3以下
事業期間	交付決定日から最大1年（2022年11月30日予定）		
主な応募要件※	・提案時（2021年9月27日）以前にベンチャーキャピタルからの出資を受けていること ・連携する事業会社等から「技術開発」、「実証」、「出資」のいずれかに関する「連携に関する合意書」を1社以上取得し提案書とともに提出すること		

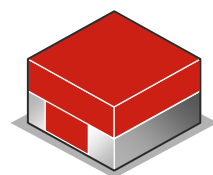


新しい社会様式の実現に向けて
事業転換を行う
研究開発型スタートアップ企業

応募

採択・交付決定

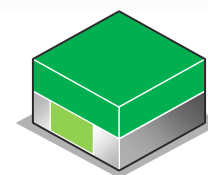
助成対象費用の2/3以下、助成額1億円以内



技術開発・実証・出資等

「連携に関する合意書」の提出が必要（応募要件）

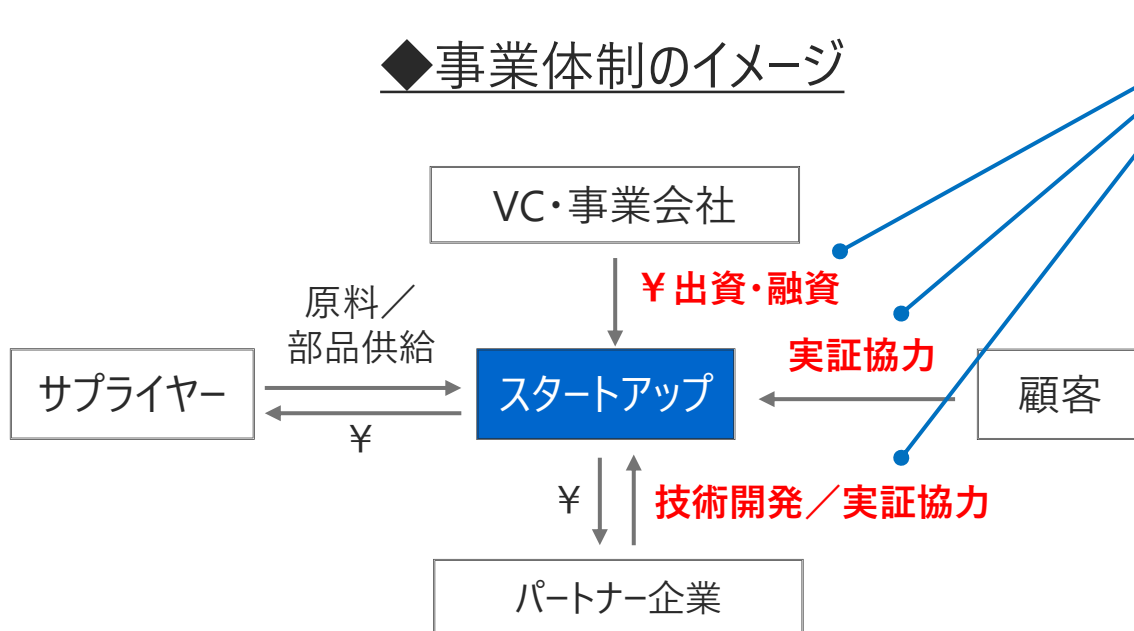
事業化に向けて
連携するVC・事業会社



2 - 3. TRY提案時の留意事項

「技術開発」「実証」「出資」のいずれかを含む「連携に関する合意書（追加資料3）」の提出が必要です。

◆事業体制のイメージ



1 社以上の提出が必要です。

【追加資料3】

連携に関する合意書

事業会社名
役職・氏名等

1. 提案者の評価
2. 連携内容
 - ☐ 原料／材料等の供給支援
 - ☒ 量産技術等の開発支援
 - ☒ 実証支援
 - ☐ 販売支援
 - ☒ 出資（2020年1月以降）
 - ☐ その他（ ）
3. 具体的な連携内容

EXIT
(IPO,
M&A)

TCP
(資金支援なし)
1年以内

NEP A
500万円未満/件
6ヶ月以内

NEP B
3000万円以内/件
12ヶ月以内

STS
7000万円以内/件
2/3 1.5年以内

TRY
1.0億円以内/件
2/3 1年以内

PCA
2.5億円以内/件
2/3 約7か月以内

VC等
(認定VC含む)
出資等

事業会社・研究機関等
共同研究・出資等

・市場適用に向けた研究開発費等の補助
・事業会社等との連携（研究開発支援の要件）

TRY※5

●市場変化に対応した事業化支援
(目的：技術シーズの市場適用加速)

・事業化に向けた研究開発費等の助成

PCA※4

●技術シーズの事業化支援
(目的：数年後の事業化)

JOIC
Japan Open Innovation Council

●オープンイノベーションの促進

STS※3

●VCとの協調支援
(目的：資金調達・
技術シーズの強化)

NEP※2

●専門家による伴走支援
(目的：PoCの実施)

TCP※1

●専門家による伴走支援
(目的：事業計画の構築)
※研修プログラム

Kawasaki-NEDO
INNOVATION CENTER

●研究開発型スタートアップの相談窓口
●事業計画作成支援

- ※1 NEDO Technology Commercialization Program
- ※2 NEDO Entrepreneurs Program
- ※3 シード期の研究開発型スタートアップに対する事業化支援
Seed-stage Technology-based Startups
- ※4 Product Commercialization Alliance
- ※5 経済構造の転換に資するスタートアップの事業化促進事業
Promotion of Technology Startups that Innovatively
Respond to Economic Changes to Yield Social Benefits

3. 応募に向けての留意事項

3 - 1. 提案書作成の留意点

II. 社会構造の転換とそれに伴う市場の変化を受けての取組

1. 社会構造の転換をどのように捉えているか

(1) これまでのビジネス展開

(2) 市場環境の変化と自社ビジネスの影響

・2020年初頭以降の**市場環境の変化**をどのようにとらえているか。既存事業の今後の展望・どんな影響が生じたか

2. 新たなペインを把握する取組

(1) 顧客のペインとその把握方法

(2) 顧客の現状の解決手段とその課題

・どのような取組によりペインを把握したか。**実際の顧客や実証等の取組**で得たものか

3. ソリューションの差別性・**優位性**（自社の強み、競合他社動向、ベンチマーク）

(1) **ソリューション**

(2) 顧客目線での競合との差別性・優位性

・提供するソリューションは何か。顧客・提供価値・提供方法は。

・コア技術は適用可能か。市場適用の強さは（参入障壁）

・提供するソリューションの**競争力の強さ**の説明。**他社との差別化（強さ）**

・顧客のペインや現状の解決方法に対して、御社のソリューションが解決できる（選ばれる）理由は何か

・**競合との比較を表**にして分かりやすく示す

3 - 1. 提案書作成の留意点

Ⅲ. 事業化に向けての開発計画

1. 事業化までの技術開発課題と実施内容

- ・事業化までの技術開発の課題は何か。いつまでに何をするのか。それを行う理由は。NEDO事業期間を含め説明

2. 事業化までのスケジュール

3. 事業化時期とその理由

- ・複数の顧客が見込め、**継続的な売上を立てられる**のはいつか。**市場規模等を踏まえ妥当な時期**か

4. 事業体制

- ・**事業化までの開発体制と連携する事業会社等の連携内容を説明**

5. 開発期間中の資金調達計画

- ・事業体制図に載っている事業会社等から「連携に関する合意書（追3）」を取得する

6. NEDOの助成金が必要な理由

- ・事業化までに必要な資金、どの時期にどのような目的で、いくら資金調達を予定しているのか
- ・資金調達について、VCや事業会社とどのような合意をしているかもできるだけ具体的に。
- ・自社で資金調達を行いつつ、補助金が必要な理由

3 - 1. 提案書作成の留意点

IV. 売上計画

1. 収益モデル

・どのような仕組みで収益を得るのか。連携先の事業会社等の位置づけを含め収益計画を説明

2. 市場規模

・顧客、ターゲット市場規模、成長性、どれくらいのシェアを獲得するのか、を分かりやすく説明
・**ターゲットとなる市場規模**を説明してください。

3. 売上計画とブレークイーブンの時期

(1) 売上計画

・1. 収益モデルを踏まえ、売上と収益の見通しの説明

(2) 販売戦略

・**TRY事業以外の既存事業や、開発段階のものを実施している場合は、それらについても記載ください**

(3) 他事業の概要と、TRY事業との関係

・TRY事業について、売上計画を達成するためにメンバー・パートナー企業等と、どのような販路で顧客にアプローチするのか。パートナー企業等とは現時点で取り交わしている内容はどのようなものか。

3 - 1. 提案書作成の留意点

V. 事業化に向けたNEDO事業期間の開発計画

1. NEDO事業における研究開発

(1) 研究開発体制図

(2) 各組織の役割（学術機関との共同研究がある場合のみ）

2. 助成先における研究体制

3. 共同研究先における研究体制

4. 委員会等における外部からの指導又は協力者

5. NEDO事業期間における助成事業の目標

6. 上記目標設定の理由

7. NEDO事業期間における研究開発の内容

8. 共同研究先の研究テーマおよび内容

9. 事業期間中の研究開発日程

10. 助成事業に要する費用の内訳等

・NEDOのTRY事業を実施する研究体制

・それぞれの目標は、必ず数値による定量可能かつ明確なものを設定

・5. を達成するために各目標の技術課題と克服手段について具体的かつ詳細に記入

・費用計上を行う機械装置や外注がある場合は対応する目標の中で果たす役割等も説明する

・別紙2

3 - 2. 審査のポイント

○ 事業性評価/技術評価

- ・2020年初頭からの急激な市場環境変化の兆しを得ており、それに**適応した事業**を行う計画
- ・事業化が達成できる具体的な計画と体制が構築できており、事業化後の優位性（シェア・売上）を確立
⇒ **社会インパクトの大きな事業**
- ・具体的な技術シーズは市場適応可能であること。
- ・ビジネス上（知財権等含む）の参入障壁を構築できていること。
- ・事業化（売上）に向けた技術課題が明確であり、解決するための本事業における具体的な計画や体制が妥当であること。

○ 事業目的への適合性

- ・本事業の目的に合致していること。

II. 社会構造の転換とそれに伴う市場の変化をうけての取組

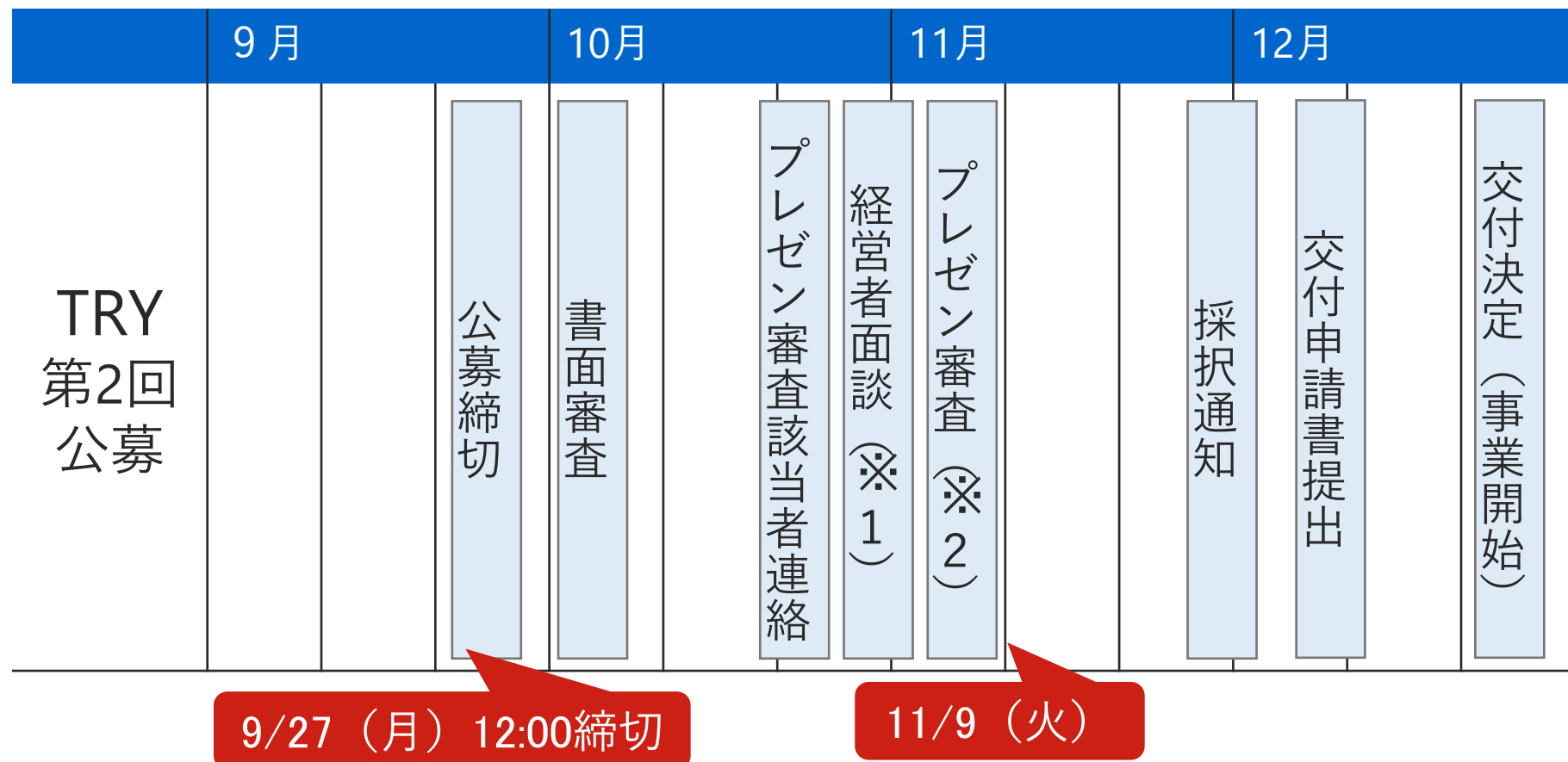
III. 事業化に向けての開発計画
IV. 売上計画

II. 3. (1) ソリューション
II. 3. (2) 顧客目線での競合との差別性・優位性

V. 事業化に向けたNEDO事業期間の開発計画

4. スケジュール

- ・9/27（月）12時まで提案書のweb提出を受け付けます。
- ・その後、10月上旬～下旬にかけて書面審査を実施し、該当者はプレゼン審査を11月9日（火）に実施します。



※1 電話会議またはweb会議での実施を予定しています。

※2 web会議での実施を予定しています。

※詳細は公募要領「7. 交付決定までのプロセス」を参照ください。

お問合せ先

N E D O イノベーション推進部

スタートアップグループ

vc-vb@nedo.go.jp